

潟上市立小・中学校の規模及び配置等に関する基本的方針(案)の概要について

令和4年10月 潟上市教育委員会

1 策定の趣旨

- 学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていく学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。
- 国勢調査結果でみると、本市の総人口は減少し、小・中学校は小規模化が進行しており、児童生徒の教育環境や学校運営等に様々な影響を及ぼしてきている。
- 「潟上市小・中学校の規模及び配置等に関する基本的方針(案)」は、次代を担う子どもたちのために、よりよい教育環境の整備と学校教育の充実を図っていく必要があるため、本市立小・中学校の規模及び配置に関する市教育委員会の基本的な考え方や取組についてまとめたものである。

2 小・中学校の児童生徒数の現状と見通し 参照 ; P2 P3 P4(4)

(各年5月1日現在の数)

(1) 現状		小学校	中学校	合計
令和4年	学校数	6校	3校	9校
	児童生徒数	1,388人	727人	2,115人
平成23年	児童生徒数	1,822人	993人	2,815人
平成23年から令和4年の増減		434人減 (△23.8%)	266人減 (△26.8%)	700人減 (△24.9%)

(令和4年5月1日現在の児童生徒数と未就学児数を基に推計)

(2) 見通し		小学校	中学校	合計
令和10年	児童生徒数	1,122人	682人	1,804人
令和4年から令和10年の増減		266人減 (△19.2%)	45人減 (△ 6.2%)	311人の減 (△14.7%)
令和11年以降		減少が続く見込み		

3 市立小・中学校の適正規模及び適正配置

(1) 本市の実状に即した適正規模

「潟上市学校教育環境適正化検討委員会の答申」を尊重し、本市の学校の規模については、クラス替えが可能となるように小・中学校とも1学年当たり2～3学級を望ましい学級数とする。
しかし、1学年1学級の学校においても、各学校の努力や創意工夫により教育水準を維持しながら学校経営がなされること、少人数学級の利点を活かして教育環境のマイナス面を小さくすること等は可能であり、1学年1学級であっても20人程度の児童生徒数を維持できる場合は許容できる学校規模と考える。

(2) 本市の実状に即した適正配置

- 学校の適正配置の具体的な方法としては、通学区域の変更や学校の統廃合が考えられる。
適正規模の安定的な確保とバランスの取れた学校配置を基本として、児童生徒数の推移、通学距離や通学時間、通学時の安全性、地理的条件、地域性などを十分考慮しながら対応していく必要がある。
- 通学条件については、児童生徒の負担面や安全面を配慮し、地域の実態を踏まえるものとし、通学距離は、小学校では4km以内、中学校では6km以内を、おおよその目安とする。
通学距離が目安以上の場合であっても、適切な交通手段が確保できることを前提として、通学時間の目安を「おおむね1時間以内」とすることが望ましいと考える。

4 適正化のための具体的方策

- (1) 学校規模が1学年1学級に満たない場合は、近隣の学校との統合を基本として適正化を図ることとする。
- (2) 通学距離が目安を超える場合は、公共交通機関の利用等により児童生徒の安全確保及び負担軽減を図る。
公共交通機関の利用が困難な場合は、スクールバス等の導入を検討する。

5 喫緊の課題への対応 参照 ; P4(5)

	喫緊の課題	対応の基本方針(案)
東湖小学校	児童数の減少による課題 ●令和6年度 2年生と3年生が複式学級となる。 ●令和8年度 2年生と3年生、4年生と5年生が複式学級。複式学級が2となる。	今後も児童数の減少が見込まれることから、児童の将来を第一に考え、学習や集団生活等の望ましい在り方を総合的に判断して、東湖小学校と天王小学校を統合し、校舎は天王小学校を使用することとする。 統合の時期は、事前の計画的な交流、児童の人間関係の構築等を考慮して、令和7年度を目処とする。
追分小学校	児童数の増加による課題 平成30年度から毎年、教室を増やす改修工事を実施している。	令和5年度にも1教室を増設する改修工事を実施する必要があると見込まれる。その後も児童数の増加が見込まれることから、更に教室を増やす必要がある。

6 適正化に向けて

- 本市における小・中学校の規模及び配置の適正化に向けては、学校が地域との連携により地域コミュニティの形成に果たしてきた役割、歴史的経緯・地理的条件といった地域事情に十分に配慮しつつ、「喫緊の課題への対応」に示した対応の基本方針に基づき、保護者及び地域等への説明を経た上で学校統合に係る取組を進めていくものとする。
- 「小・中学校の児童生徒数の現状と見通し」に示した状況を基に、今後も市全体の中長期的な動向を注視し、義務教育学校や小中併設校等も含めた様々な学校の在り方を想定しながら、小学校及び中学校のよりよい教育環境の整備と学校教育の充実を図るものとする。

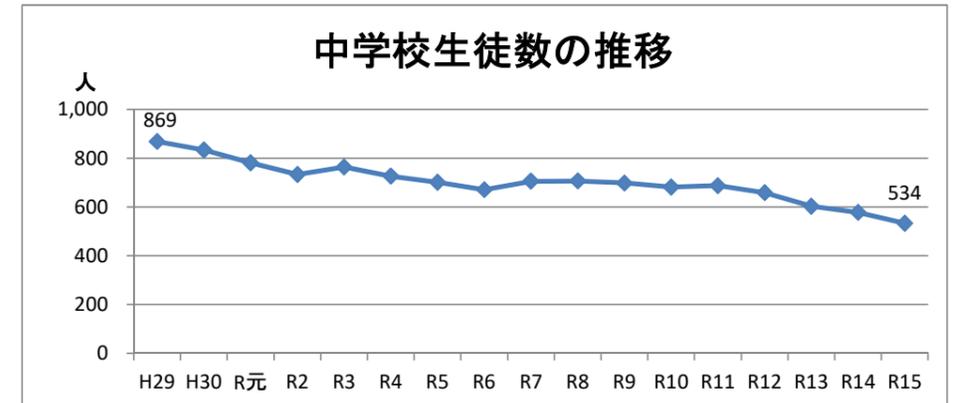
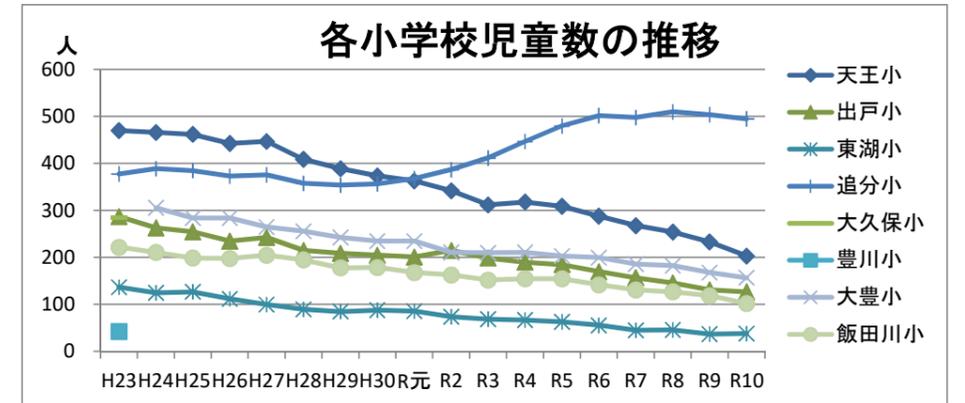
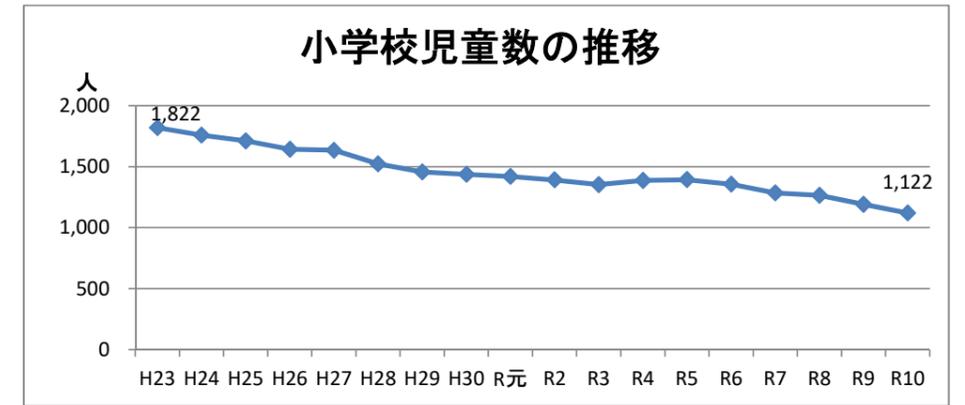
<参考>スケジュール(案)

- 令和4年
 - 8月 基本的方針(案)の策定
 - 9月 市議会へ説明
- 9～10月 学校関係者等への説明
HP掲載
パブリック・コメントの実施
- 11月 市民説明会
市広報11月号に掲載
教育委員会において
基本的方針を決定
- 12月 市議会へ基本的方針を報告
- 令和5年
 - 1～2月(見込み) 市民説明会

(1) 小学校児童数の推移

学校名	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	
天王小	児童数	470	466	462	443	447	409	389	374	363	342	312	318	309	288	268	254	233	203
	学級数	14	14	14	14	15	14	14	12	13	13	12	12	12	12	11	10	9	8
出戸小	児童数	287	263	255	235	243	215	209	205	201	215	199	190	185	170	157	146	131	127
	学級数	11	11	10	8	9	8	7	8	7	8	7	7	7	7	7	6	6	6
東湖小	児童数	137	125	127	112	100	90	85	88	86	74	69	67	63	56	45	46	37	38
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	4
追分小	児童数	378	389	385	373	376	358	354	357	368	387	412	447	480	502	498	510	504	495
	学級数	12	13	12	12	12	12	12	12	13	14	15	16	17	18	18	18	18	17
大久保小	児童数	285																	
	学級数	11																	
豊川小	児童数	43																	
	学級数	4																	
大豊小	児童数		306	284	284	265	256	243	235	235	211	210	211	203	200	186	183	168	157
	学級数		12	12	12	10	10	9	8	8	7	7	7	7	7	7	7	6	6
飯田川小	児童数	222	211	199	198	205	195	178	179	168	163	152	155	155	142	131	127	119	102
	学級数	8	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
計	児童数	1,822	1,760	1,712	1,645	1,636	1,523	1,458	1,438	1,421	1,392	1,354	1,388	1,395	1,358	1,285	1,266	1,192	1,122
	学級数	66	64	60	58	58	56	54	52	53	54	53	54	55	55	54	51	49	47

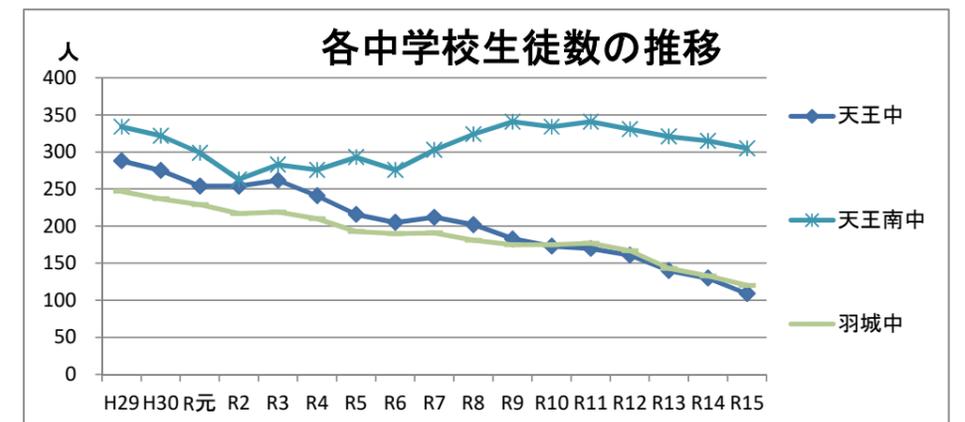
※児童数には特別支援学級の児童数を含む。学級数には特別支援学級を含まない。



(2) 中学校生徒数の推移

学校名	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	
天王中	生徒数	288	275	254	254	262	241	216	205	212	202	183	173	170	161	140	109	
	学級数	10	10	9	9	9	8	7	7	7	7	6	6	6	6	5	4	
天王南中	生徒数	334	322	299	263	283	276	293	276	303	324	341	334	341	331	321	315	305
	学級数	12	11	10	9	10	10	10	9	10	11	12	12	12	12	11	11	10
羽城中	生徒数	247	237	229	217	219	210	193	190	191	181	175	175	177	167	143	133	120
	学級数	9	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	
計	生徒数	869	834	782	734	764	727	702	671	706	707	699	682	688	659	604	578	534
	学級数	31	29	26	25	26	25	23	22	23	24	24	24	24	24	22	21	18

※生徒数には特別支援学級の生徒数を含む。学級数には特別支援学級を含まない。



(3) 市立各小学校の将来的な見通し（令和10年度までの見通し）

天王小学校	1学級の学年も増えてくるが、1学級20人以上の編制が維持できる。
-------	----------------------------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支	
1年	56	2	42	2	34	1	26	1
2年	45	2	42	2	35	1	24	1
3年	48	2	56	2	42	2	34	1
4年	55	1	45	2	42	2	35	1
5年	63	1	48	2	56	2	42	2
6年	51	2	55	1	45	2	42	2
計	318	6	288	5	254	2	203	8

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

追分小学校	適正規模を維持できる。
-------	-------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支	
1年	80	1	84	3	92	3	70	2
2年	82	3	96	3	76	3	77	3
3年	80	3	80	1	84	3	92	3
4年	80	2	82	3	96	3	76	3
5年	62	1	80	3	80	1	84	3
6年	63	2	80	2	82	3	96	3
計	447	7	502	6	510	1	495	17

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

出戸小学校	1学級20人前後の編制が維持でき、少人数学級の利点を活かすことができる。
-------	--------------------------------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支	
1年	23	1	19	1	27	1	19	1
2年	31	1	29	1	17	1	16	1
3年	38	2	23	1	19	1	27	1
4年	30	1	31	1	29	1	17	1
5年	34	5	38	2	23	1	19	1
6年	34	1	30	1	31	1	29	1
計	190	9	170	4	146	1	127	6

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

大豊小学校	1学年1学級の規模となるが、1学級20人以上の編制が維持できる。
-------	----------------------------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支	
1年	33	1	31	1	26	1	22	1
2年	38	1	33	1	22	1	23	1
3年	29	1	33	1	31	1	26	1
4年	36	1	38	1	33	1	22	1
5年	34	1	29	1	33	1	31	1
6年	41	2	36	1	38	1	33	1
計	211	4	200	1	183	1	157	6

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

東湖小学校	令和6年度は複式学級1、令和8年度以降は複式学級2となる。複式学級解消のため、速やかに天王小学校と統合することが望ましい。
-------	---

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支	
1年	6	1	7	1	6	1	7	1
2年	13	1	8	1	6	1	4	1
3年	5	1	6	1	7	1	6	1
4年	17	1	13	1	8	1	6	1
5年	14	1	5	1	6	1	7	1
6年	12	1	17	1	13	1	8	1
計	67	2	56	1	46	4	38	4

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

飯田川小学校	1学級20人前後の編制が維持でき、少人数学級の利点を活かすことができる。
--------	--------------------------------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支	
1年	28	3	20	1	19	1	11	1
2年	23	1	22	1	15	1	15	1
3年	24	1	28	3	20	1	19	1
4年	25	1	23	1	22	1	15	1
5年	33	1	24	1	28	3	20	1
6年	22	1	25	1	23	1	22	1
計	155	5	142	5	127	3	102	6

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

※令和4年度は令和4年5月1日現在の実数
 ※県の少人数学習推進事業に基づいた学級数

(4) 市立各中学校の将来的な見通し（令和15年度までの見通し）

天王中学校	適正規模を維持できる。
-------	-------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度		令和12年度		令和15年度						
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数					
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支		うち特支		うち特支						
1年	65	2	77	2	3	53	3	2	62	2	2	49	2	28	1		
2年	88	3	3	63	2	72	1	2	58	2	2	50	2	40	1		
3年	88	3	65	2	77	2	3	53	3	2	62	2	2	41	2		
計	241	3	8	205	2	7	202	6	7	173	5	6	161	2	6	109	4

※生徒数（うち特支：特別支援学級の生徒数）、学級数（特別支援学級を含まない）

天王南中学校	適正規模を維持できる。
--------	-------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度		令和12年度		令和15年度						
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数					
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支		うち特支		うち特支						
1年	83	1	3	96	6	3	118	5	4	103	1	4	103	4	93	3	
2年	113	2	4	97	3	3	110	3	4	113	1	4	125	4	119	4	
3年	80	3	3	83	1	3	96	6	3	118	5	4	103	1	4	93	3
計	276	6	10	276	7	9	324	14	11	334	7	12	331	1	12	305	10

※生徒数（うち特支：特別支援学級の生徒数）、学級数（特別支援学級を含まない）

羽城中学校	適正規模を維持できる。
-------	-------------

学年	令和4年度		令和6年度		令和8年度		令和10年度		令和12年度		令和15年度					
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数				
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支		うち特支		うち特支					
1年	60	5	2	67	1	2	53	1	2	61	3	2	51	2	38	1
2年	70	2	2	63	2	2	61	1	2	61	1	2	55	2	45	2
3年	80	1	3	60	5	2	67	1	2	53	1	2	61	3	37	1
計	210	6	7	190	8	6	181	3	6	175	5	6	167	3	120	4

※生徒数（うち特支：特別支援学級の生徒数）、学級数（特別支援学級を含まない）

※令和4年度は令和4年5月1日現在の実数

※県の少人数学習推進事業に基づいた学級数

(5) 東湖小学校児童数・学級数の推移

※児童数（うち特支：特別支援学級の児童数）、学級数（特別支援学級を含まない）

学年	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数			
	うち特支		うち特支		うち特支		うち特支				
1年	6	1	8	1	7	1	6	1			
2年	13	1	6	1	8	1	7	1			
3年	5	1	13	1	6	1	8	1			
4年	17	1	5	1	13	1	6	1			
5年	14	1	17	1	5	1	13	1			
6年	12	1	14	1	17	1	5	1			
計	67	2	63	2	6	56	1	5	45	1	5

学年	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	うち特支		うち特支		うち特支	
1年	6	1	4	1	7	1
2年	6	1	6	1	4	1
3年	7	1	6	1	6	1
4年	8	1	7	1	6	1
5年	6	1	8	1	7	1
6年	13	1	6	1	8	1
計	46	4	37	4	38	4

※令和6年度に複式学級が1、令和8年度以降に複式学級2となる。

(6) 複式学級、学級編制

【複式学級とは】
2つ以上の学年で構成される学級のことである。
【複式学級となる場合の特徴】
・ 異学年間の縦の交流が生まれやすい。
・ 異学年の児童生徒が同じ教室で学習するため、教科によっては、一方の学年の児童生徒が教師から直接指導を受けている間、他方の学年の児童生徒は自学自習していることが主となる。
・ ある程度まとまった人数で行うと効果がある学校行事や音楽活動等が制限される。
・ 多様な意見を出し合うことやグループ活動が行いにくい。
・ 1学年の人数が少なく、PTAや保護者等の活動において、保護者1人当たりの役割が多くなる。

【学級編制（国の基準）】	
1 小学校	
(1) 同学年の児童で編制する学級	35人まで1学級（経過措置あり）
(2) 複式学級	
1年生を含む場合	8人まで1学級
その他	16人まで1学級
(3) 特別支援学級	8人まで1学級
2 中学校	
(1) 同学年の生徒で編制する学級	40人まで1学級
(2) 複式学級	8人まで1学級
(3) 特別支援学級	8人まで1学級